



これらの行動を通して、
持続可能な社会づくりに
貢献します。

公園と人をつなぐ 案内ロボットの導入

活動時期 2022年6月7日～8月26日

活動場所 大島小松川公園サービスセンター（東京都江東区大島）

エコルシステムではコミュニティビジネス部とユニロボット株式会社の協力のもと、公園管理業務におけるDXの取り組みの一環として、コミュニケーションロボット「ユニボ」を活用した実証実験を開始しました。自動案内やレクチャー機能が搭載されているため、ユニボが園内施設の紹介やイベントの宣伝を行うことで、広報効果や案内サービスの向上が見込まれるか検証を行っています。

※ユニボ (unibo) はユニロボット株式会社の製品です。

活動の目的
近年、公園管理におけるデジタル技術の活用が求められる傾向にあり、先駆けた取り組みとして本事業を開始しました。ロボットが設置されることで公園の新たな魅力発信の機会を創出し、広報効果や窓口サービス能力の向上を目指しています。

取り組み・成果
公園にまつわるクイズや謎解きイベントなど、ユニボと遊びながら公園の新たな側面を知ることができる機能が人気です。来園者からは「楽しかった」「家族で楽しい思い出ができました」との声をいただき、公園での新たな楽しみ方を生み出すことができました。

今後の目標・課題
ユニボの機能内容は自由に開発をすることができます。今後はAIを活用した顔認識による属性分析や呼び出し機能を使った遠隔対応など新たな機能開発を進め、職員も利用者も快適な公園づくりに貢献できるよう更なる発展に取り組んでいきます。

活動実施会社 株式会社エコルシステム



1 大島小松川公園サービスセンターに設置したユニボ 2 ユニボが出題したクイズに答えて遊ぶ子どもたち 3 ユニボの謎解きイベントに参加する親子



1 4月12日に開催された第2回「みどりの教室」。千葉市若松台・千城台方面へ向かう際の講義風景です。【講師：廣島真知子先生】
2 4月8日に開催された第2回「身近な自然を学ぶ講座」。千葉市奥津田での講義風景です。【講師：横林庸介先生】

千葉市都市緑化植物園 緑の大切さを伝え、自然保護啓発を行う

活動時期 2022年4月～2023年3月予定（毎年度実施）

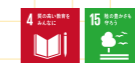
活動場所 千葉市都市緑化植物園（千葉県千葉市中央区）、千葉県内の緑地等

千葉市都市緑化植物園の受託講座である「みどりの教室（全9回）」「身近な自然を学ぶ講座（全5回）」は、毎年度市民からの評価が高く、参加希望者が多い講座です。みどりの教室（①）は、森の案内人を目指し、市内外の里山や森をめぐり、植物の知識や森の構造、人との関わりを学ぶ講座です。身近な自然を学ぶ講座（②）では、市内外をめぐり、様々な植物を講師の解説を聞きながら歩いて観察します。

活動の目的
① “森の案内人を目指して”をテーマとし、みどりの役割・植物の生態など、幅広い視点から植物を学び、みどりを守り伝えていく活動の担い手を育成します。
② 身近な植物や自然の姿を観察していくことによって、身近な植物に目を向けて自然の大切さを学んでいきます。

取り組み・成果
① 当講座卒業生には、さらにみどりへの理解を深めて学ぶ機会を設けた制度（2年次生）があります。今年度は5名の方が2年次生を希望され、勉学に励んでいます。
② 様々な場所での観察を通じて宅地開発による緑の消失、絶滅危惧種など希少な植物を目の当たりにする場面などもあり、自然保護啓発の役割を果たしています。

今後の目標・課題
① 2年間の学びを活かし、当園のボランティアとして、園内ガイドや講座補助、野草園の整備等といった「森の案内人」としての活躍が期待されます。
② 多くの人にみどりとふれあう機会を提供し、自然保護への意識を高めていただくことができるように引き続き取り組みます。



1 完成したグリーンインフラ実験施設です。雨水貯留基盤を使用して、グリーンインフラの効果を数値で表すことが出来ます。
2 緑のリサイクルプラントでの剪定枝の処分状況です。この時は竹のみを持ち込みました。 3 はまっ子ユーキの使用状況です。

橋木は資源循環サイクルを 構築しています！

活動時期 2021年9月～2022年5月

活動場所 神奈川県横浜市内

公園緑地管理等の市の事業で発生した刈草・剪定枝を受け入れている「緑のリサイクルプラント」というリサイクル施設で発生材を処分しています。ここでは、発生材を「はまっ子ユーキ」という堆肥やチップ材にリサイクルしています。その堆肥を同じ市の事業であるグリーンインフラ実験施設整備工事で使用することで、市内の資源循環サイクルの構築に寄与しています。

活動の目的
私たちは、地域に根差した企業を目指し、邁進しています。そのために市の事業に積極的に参加し、緑地管理等を通して地域内で資源を循環させ、環境対策に有効な施設の整備工事に携わることで、持続可能な街づくりに貢献することを目的としました。

取り組み・成果
グリーンインフラの実験の様子は、テレビや新聞など多くの媒体でも紹介され関心度の高い工事に携わることが出来ました。市の施策に貢献することが出来、着実に地域密着型企業に前進したと実感して従業員全員で達成感を感じました。

今後の目標・課題
今後もグリーンインフラの取組みに、積極的に参加していきます。また、今年度は、地域認定制度である「よこはまグッドバランス賞」を受賞しました。これからは地域を意識した経営を行う企業を認定する「横浜型地域貢献企業」の認定に取り組み、更に地域に貢献出来る企業を目指していきます。

活動実施会社 株式会社橋木

